

埼玉親善大使レポート

Noviembre de 2015

長山優子

クラスが変わりました

10月下旬から新しい学期が始まりました。私は Basico4 から Intermedio1 に無事進級でき、ホッとしたところです。このクラスでは接続法の更に発展した使い方を学びます。Intermedio は1～3までのレベルがあり、このレベルで全ての文法事項を学び終わります。私のクラスは中国人4人、日本人4人、ロシア人4人、カメルーン人1人の計13人で、メキシコ人1名がアシスタントにつきました。皆おしゃべりな人たちで、いつもとても活発に意見交換が行われています。活発過ぎて授業が進まないのがありますが……。とても楽しいクラスです。

死者の日

11月1日はメキシコでは「死者の日」です。日本でいうお盆にあたるのでしょうか。ご先祖様の霊が帰ってくるのを皆で楽しく迎えようという文化らしく、10月中旬から沢山の仮装グッズが売られています。この日は学校もお休みになりました。

メキシコの人々はこの日のために、お墓の飾り付けをします。飾り付けに使われる花はマリーゴールドで、街中からいい香りが漂ってきます。また、Ofrenda（オフレンダ）という街中の飾りつけもこの時期の見どころの一つです。この連休中はこの Ofrenda を見に行きまわりました。

まずは大学の Ofrenda。大学ではスタジアムの外に学部ごとの Ofrenda が公開されていました。規模も様々で、バスや車を使って飾りつけたものや、地面に色つきの木くずのようなもので絵を描いたものなど、かなり見ごたえのある作品が並んでおりました。



UNAM の Ofrenda

ソチミルコでは、小さな Ofrenda が街の中心部にありました。各個人が飾りつけ



博物館での展示

帰り際に墓地の見学もさせていただきました。夜9時の真っ暗な墓地は入るのに勇気が要りましたが、キャンドルとマリーゴールドの飾り付けは幻想的で、とても綺麗でした。

また、レフォルマ地区では大きな人形が道に並んでおりました。この人形、死者の日当日に山車のように引いて練り歩くためのもので、死者の日前の1～2週間、レフォルマの通りに展示されていたようです。練り歩いているところを見ましたが、とても大きいのでかなり迫力がありました。

この連休中、小学校の行事でお遊戯や歌の発表会がありました。大家さんのご厚意でお邪魔させていただいたのですが、骸骨の衣装をして踊る姿はとても可愛く感じました。発表会后、小学校から Pan de Muerto というパンが配られました。このパン、この時期に出回るもののようで、丸いパンの上に細い十字があるのが特徴です。ほんのりオレンジ風味のものをいただきましたが、とても美味しかったのを覚えております。

この死者の日、骸骨のメイクをした人たちが街を歩いている姿が見られ、とてもメキシコらしいお祭りです。メキシコには、ぜひこの時期に来てみてください。

をしたような温かみのある作品でした。また、その近くにある博物館でも Ofrenda の展示が行われており、中に入るために並ぶこと一時間。その中はまるでディズニーランドのイツアスモールワールドのような世界観で、思わず圧倒されます。ソチミルコでは



死者の日の食べ物あれこれ